

# シームレスな連携でサポート

## PHC

PHCは薬局・薬剤師を支援する多彩な電子薬歴システムや患者アプリを揃えている。クラウド・オンプレミスのハイブリッド型のLeadクラウド薬歴「DrugstarLead」は、薬局の体験を変化させる。薬の変更点を印刷して、患者とのコミュニケーションを促進し、薬識向上と服薬継続を支援する。患者のスマートフォンを活用して、非接触の新患アンケート(先確認ヒアリング)が提供できる。必要なときに場所を選ばず、タブレット・スマホから薬歴簿の参照・入力・承認が可能になった。

電子薬歴システム「PharnesV-MX」は、シンプルで分かりやすい電子薬歴となっている。レセプトコンピュー

ターと薬歴をシームレスに一体化した最新の電子薬歴システムで、患者の諸情報や過去歴をひと目で把握でき、患者の腎機能に基づく監査など、充実したデータベースによる監査でリスクを低減。

ハイリスク薬画面やシェーマ図などで、きめ細かな指導も支援して、患者に寄り添う薬剤師をサポートする。

「DrugstarPrime」は患者参加型の治療を実践する「アドヒアランス向上プログラム」を搭載、患者判断による服薬中断を防ぐ高機能の電子薬歴システム。推定病名による処方矛盾チェック、多剤併用・漫然投与チェックなどの機能で、医師と協力して薬物治療の最適



化を目指す薬剤師をサポートする。

ヘルスケア手帳は、処方箋受付から服用管理はもちろん、オンライン服薬指導や配薬・決済にも対応、さらには服用中のフォローアップまで患者アプリの決定版となっている。患者さんがアプリで撮影した処方箋画像が薬局に届くため、事前に薬の準備と準備完了の通知ができ、業務効率向上・患者の待ち時間有効活用での満足度向上や、新規顧客獲得が見込める。

また、服用薬を管理する「電子版お薬手帳」の機能も備えており、電子薬歴システム「PharnesV-MX」「DrugstarPrime」とのシームレスな連携が可能となっている。

# 話題の調剤支援システム

関連記事23～26ページ

## 今秋、DS Box Unitを追加

### ユヤマ「DrugStation」

ユヤマは、昨年新発売した処方箋の内容に基づく医薬品の取り揃え(ピッキング)業務を自動で行う自動薬剤ピッキング装置「DrugStation(ドラッグステーション)」に今秋、薬品箱の充填作業を自動で行い、薬品欠品時と充填時に薬品箱ごと払出しを行うDS Box Unit(自動薬品箱充填払出装置)の追加を予定している。

ドラッグステーションは、本体部とピッキング台で構成されている。本体には薬品トレイが整然と配置され、薬品箱だけでなくPTPシート、漢方、点眼薬、軟膏チューブ、予製した分包品など計数調剤可能な医薬品が収容可能。

レセコンからの処方情報をドラッグステーションが受信すると本体のロボットアームが該当する薬品トレイを取り出しピッキング台へ運ぶ。ピッキング台に薬品トレイが到着すると薬品払出シャッターが開き、目の前にある

薬品の詳細が表示されたモニターを見ながら、必要数を取り揃える。

薬品払出シャッターは、複数薬品を収納しているトレイでもピッキングする対象薬品の箇所しか開かないように設計されていて、集薬した医薬品の形状をカメラで確認し、端数を判断すると共に、重量による鑑査も行うため、正確性を飛躍的に向上させ、薬品の取り間違い、数え間違いを防止することができる。

今秋、追加を予定しているDS Box Unitはドラッグステーション本体に連結させ使用する。ピッキング時に払出量が足りず欠品した際に保管場所までわざわざ取りに行かなくとも、DS Box Unitから箱単位で自動的にピッキング台周りに運ばれてくるユニットだ。

医薬品の充填方法には、手差しタイプといわゆる「折りコン」をそのまま装置内に入れると自動で充填してくれる2タイプがある。手差しタイプは、

充填専用の手差し部内にあるGS1コード読み取り装置を使い、薬品箱のGS1コードを照合し、薬品情報を識別。手差し部内にセットするだけで、自動的に薬品は庫内に収納され必要に応じて払出しを行う。また、自動タイプは、手差しタイプに充填装置を連結させ、卸から入荷された折りコンを装置内にセットするだけで、庫内にあるロボットアームが薬品箱を1箱ずつ掴み、薬品の識別および庫内の棚に自動的に配置する。

ピッキング業務は、薬剤師が調剤室内を動き回って薬品を取り揃えるために時間を要していたが、2019年4月2日に厚生労働省から「調剤業務のあり方について」が発出され、薬剤師の目が届く場所で、薬剤師以外でも医薬品の必要量を取り揃える行為が可能と



なった。

ドラッグステーションでは、目の前に出現する薬品トレイに入っている薬品をピッキングするため、だれでもピッキング業務を平準化することができ、効率性と安全性が向上し、薬剤師は本来の対人業務に時間を割くことができるなど、薬局業務の質の向上にもつながっている。

# 第54回日本薬剤師会学術大会

(順不同)

 <p>東西医療の統合をめざして</p> <p><b>帝京平成大学 薬学部</b></p> <p>〒164-8530 東京都中野区中野四-1-1</p> <p>電話 〇三(五八六〇)四七一</p>	 <p><b>日本薬科大学</b></p> <p>〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室一〇二八一</p> <p>電話 〇四八(七二二)一一五五番</p>	 <p><b>城西大学 薬学部</b></p> <p>〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台一</p> <p>電話 〇四九(二七二)七七一一番</p>	 <p><b>奥羽大学 薬学部</b></p> <p>〒963-8611 郡山市富田町三角堂三一</p> <p>電話 〇二四(九三二)八九三一</p>	 <p><b>東北医科薬科大学</b></p> <p>〒981-8558 仙台市青葉区小松島四一四</p> <p>電話 〇二二(二三四)四一八一</p>	 <p>社団法人 <b>日本チェーンドラッグストア協会</b></p> <p>〒105-0001 東京都港区虎ノ門一-15-1</p> <p>電話 〇三(三五〇六)一〇〇三番</p>	 <p>公益社団法人 <b>日本薬剤師研修センター</b></p> <p>〒107-0052 港区赤坂一-19-1</p> <p>電話 〇三(三五六八)八二〇一</p>	 <p>公益社団法人 <b>薬剤師認定制度認証機構</b></p> <p>〒105-0003 東京都港区西新橋一-19-2</p> <p>電話 〇三(三五一九)五八三八</p>
---	---	---	--	---	--	---	---